

広島市歯科医師会だより



8 月号

No.184 (R4.8.9)

Hiroshima City Dental Association



目次

注目!! オミクロン変異株「BA.5 株」の特徴について～改めて感染対策の基本に向き合う～	1 ページ
行事報告	
令和4年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会	2 ページ
令和4年度 第2回 四者協議会	2 ページ
広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い	3 ページ
支部だより	
中区支部	4 ページ
東区支部	7 ページ
南区支部	8 ページ
西区支部	8 ページ
ちよつとイイ話	
休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	9 ページ
換気システムについて考える(学術部)	9 ページ
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	11 ページ
【節目年齢歯科健診の受診率について(広島県他地区との比較)】(地域歯科保健部)	12 ページ
学校歯科健康診断における歯垢・歯肉の診査基準について(地域歯科保健部)	14 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	14 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	15 ページ
YouTube(広報部)	17 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	18 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	18 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介	19 ページ
会長コラム『柔しく剛く』 コロナ禍はいつまで続くのか	20 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	21 ページ
7月定例理事会報告	22 ページ

オミクロン変異株「BA.5株」の特徴について

～改めて感染対策の基本に向き合う～

第7波の原因であるオミクロン変異株「BA.5株」の特徴をまとめてみました

「BA.5株」の感染力は？

「BA.5株」は世界各地での「置き換わり」が報告されています。またこの株は、より免疫機構をすりぬける力を持ち、「BA.2株」と比較し 1.27倍速く感染が広がると報告されています。ちなみに東京都では 8月1日には「BA.5株」置き換わると試算されています。

「BA.5株」での症状や病原性は？

「BA.5株」での主な症状は 「倦怠感」「発熱」「せき」「のどの痛み」で、加えて「頭痛」「鼻水」「味覚・嗅覚異常」の発現頻度が高いとのこと。症状が続く期間は 平均7日間で、他のオミクロン変異株と比べ長い（「BA.2株」は平均4日）と報告されています。

また、東京大学の佐藤佳教授らは、「BA.5株」は デルタ株が持っていたような下気道（肺）で増えやすい特性があると報告していますが、「BA.5株」の置き換わりが起きているヨーロッパでは、死者数・重症者数の増加を認めていないことから、重症化リスクは高くはないと推察されています。しかし、高齢者でかつ基礎疾患を有するケースでは、重症化リスクが高くなる傾向があるとの報告もあり、注意が必要です。

改めて感染対策を考えると、

変異を続けている新型コロナウイルスですが、感染拡大防止のためには「感染対策の基本」である、「三密（密集・密閉・密接）を避ける」、「こまめな換気をする」、「マスクの装着」、「診療の際にマスク・フェイスシールド・グローブを装着しスタンダードプリコーションを徹底する」が、今も昔も変わらず大切です。感染が急拡大している今だからこそ「感染対策の基本」の徹底を改めてお願い致します。

参照サイト

NHK <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/newvariant/>



Re ライフ.net <https://www.asahi.com/relife/article/14670347>



行事報告

令和4年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会

日時：7月6日(水)午後7時30分

場所：広島市役所 2階「講堂」

標記の会が開催され、

- ・今年度の広島市学校保健功労者の表彰
- ・永年勤務の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対する感謝状

・広島市学校保健推進学校の表彰

・広島市学校保健研究物の表彰

について審査が行われた。その結果、本会会員からの本年度の受賞者が下記の通り決定された。

広島市学校保健功労者表彰

天満小学校 前田 哲也 先生

早稲田小学校 尾崎 昌康 先生

大州中学校 佐々木 みどり 先生

似島中学校 伊藤 良明 先生

永年勤務の学校歯科医に対する感謝状授与

東浄小学校 藤範 恭弘 先生

3年ぶりに開催される広島市学校保健大会において受賞式が執り行われる予定である。

なお、本会からは石田一輝地域歯科保健部学校保健理事及び濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が出席した。



委員会の様子

令和4年度 第2回 四者協議会

日時：7月8日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

8月4日(木)開催予定の第62回広島市学校保健大会併催の「よい歯の集い」におけるよい歯の学校・児童表彰者選考のため、広島市歯科医師会、広島市教育委員会、

広島市立小学校長会、広島市小学校教育研究会健康教育部会の代表で構成する標記会議を開催し、以下のように決定した。

1. 児童表彰の部

(1) よい歯の健康大賞

総数 4,665 名 (内広島市歯科医師会としては 1,944 名)

(2) よい歯の賞

総数 3,131 名 (内広島市歯科医師会としては 1,251 名)

2. 学校表彰の部

特別優秀校	<u>広島特別支援学校(上田裕次先生)</u>	
優秀校	基町小学校(上川克己先生) 毘沙門台小学校	中島小学校(津田祐一先生)
優良校	幟町小学校(香川次郎先生) 東浄小学校(藤範恭弘先生) 安小学校 三田小学校 五日市南小学校	神崎小学校(荒光泰生先生) 牛田小学校(能美和基先生) 原南小学校 五日市観音小学校 湯来東小学校
努力校	江波小学校(山本亮先生) 古市小学校 亀山南小学校 湯来小学校	己斐東小学校(椿田直也先生) 亀崎小学校 矢野小学校

(下線は本会からの表彰校)



協議の様子

広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い

日時：7月14日(木)午後6時

場所：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島「ラグジュアリーフロア」

本会主催のカープ観戦(広島対横浜)の集いが開催された。コロナ禍の中、60名の方に参加頂いた。

当日は試合開始直前まで大雨に見舞われ、開催が危ぶまれたがファンの想いが通じたのか、試合前には何とかやんで無事試合開始となった。

先発はアンダーソン投手で先制されたカープであったが、3回の裏ツーアウト二、三塁とチャンスが訪れた。ここでMLBから電撃途中加入した秋山選手がライトへの痛烈なタイムリーヒットを放った。続いて坂倉選手の

レフト前ヒットでもランナーが生還し、応援席は歓喜のムードに包まれた。その後も一岡投手が1年半ぶりに1軍のマウンドに戻ってきたり、マクブルーム選手のタイムリーなど接戦に追い上げる場面もあったが、終盤の一発に泣き3-4と惜しくもカープの敗北となった。

当日は雨上がりで蒸し暑さもあったが、広い空間で会員同士も距離を取りながらゆったりと応援することができた。



ラッキー7 前的一幕

支部だより

中区支部

第13回 幟町圏域多職種連携会議（ハイブリッド）

日時：6月17日（金）午後7時

場所：中区大手町 大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下、会場とオンラインでのハイブリッド開催となった。このたびのテーマは過去2年続いていた新型コロナウイルス関連ではなく、「ポリファーマシー(多剤併用)」という、多職種連携の原点に立ち戻る内容であった。

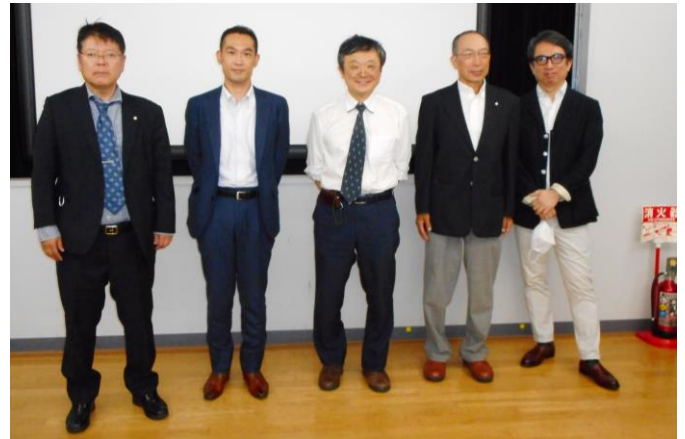
講師に医科を代表し高橋浩一医療法人和平会折口医院医師、薬科を代表し竹本貴明らいおん薬局薬剤師のお二人方を迎え、それぞれの立場から「ポリファーマシー」について講演された。

お二方の共通の見解は、高齢者の大半は一つの診療科のみの受診ではなく、複数にわたる診療科を受診することにより、それぞれの科より投薬を受けることになるが、中には併用禁忌薬剤の処方や重複処方等が散見されたということであった。しかし、一方で、診療科ごとに「お薬手帳」を使い分けている高齢者もいっしょり、改善が難しいと

いう実情も知らされた。

歯科領域においては、たくさんの薬剤を処方することは少ないが、問診にて患者さんがどのようなお薬を服用しているかを確認することの重要性を再認識させられた次第である。

なおこの会議には、会場では波田佳範支部長、森田薫氏、Webでは香川次郎副支部長が参加した。



会議の参加者

令和4年度 中区地域ネットワーク事例検討会（ハイブリッド）

日時：6月20日（月）午後6時30分

場所：中区大手町 大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が会場参加(大手町平和ビル)とWeb形式によるハイブリッド形式で開催された。

新型コロナウイルス感染症によって生じた、在宅における多職種連携の問題点、課題等を挙げていくために、会場

参加、Web参加でそれぞれ班を作り、グループワークを行った。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2年間、在宅医療の現場は様々な変化があったことが、各職種の報告

から窺い知ることができた。それはまた、これから迎えるウィズコロナの時代にどのように対応していくのかの問題提起となった。

なお、中区支部からは波田佳範支部長、石田一輝氏、加藤千季氏、森田薫氏が Web で参加した。



検討会の様子

令和4年度 広島市中区地域保健対策協議会

日時：6月24日(金)午後7時

場所：中区大手町 大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

小西太中区医師会理事の司会進行の下、田邊徹行中区医師会会長の挨拶が行われ、議事へと移行した。

令和3年度事業報告、収支決算報告、監査報告に始まり、令和4年度事業計画(案)、予算(案)について協議が行われた。現在の新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、今年度は昨年度と比べ、ある程度の制限を加えながらも、いろいろな事業等を開催していく方向であることが示された。

今年は3年ぶりに「おくちの健康展」が人数制限を加えながらも、「そごう広島店」屋上で開催されたことを波田佳範中区支部長、前田羊一地域歯科保健部委員長より報告された。

閉会挨拶は、新任の薬師寺直樹中区区長が行い会議を終了した。

なおこの会議には、中区支部より波田佳範支部長、前田羊一氏が出席した。



報告をする波田佳範支部長

令和4年度中区支部ソフトボール練習

日時：6月30日(木)午後7時

場所：西区スポーツセンター「グラウンド」

中区支部のソフトボールの練習が行われた。新型コロナウイルス感染の影響で、過去2年ソフトボール大会が中止となり、虚脱感に見舞われた日々ではあったが、今年こそ大会が開催されることを願い、参加者一同、上のクラスを目指す事を目標に頑張っていくことを確認しあった。

まず全体練習に入る前に、柔軟体操、軽いランニング等を行い、キャッチボールへと移行した。

それから、バッティング練習を行い、久しぶりの打撃感

覚を確認する一方で、中心選手の技術の巧みさや、新たに加わった若手会員の力強さに感心するばかりだった。

引き続き、花木清隆主将がノックバットを握り、守備練習へと移った。最初は足元や、グラブさばきが覚束ないところもあったが、次第に体が対応したように思えた。

練習終了後、波田佳範支部長より「過去2年間は、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされたが、今年ソフトボール大会が開催されることを信じて、これからの練習頑張

っていこう」と、檄が飛ばされた。

この練習には、波田佳範支部長、香川次郎副支部長、有田竜二氏、小島将督氏、地守宏紀氏、花岡宏一氏、花木清隆氏、平田誠氏、吉岡英将氏が参加した。



練習の様子

第24回 在宅医療・介護保険研修会

日時：7月15日(金)午後7時

場所：中区大手町 大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

橋本義政中区医師会理事司会進行の下、田邊徹行中区医師会会長の開会挨拶が行われた。現在の新型コロナウイルスのオミクロン BA.5 株の感染の状況、またこれから予想され得る状況についての話もされた。

講師は前田羊一地域歯科保健部委員長が務め、演題は「コロナ禍における在宅医療口腔ケアについて」であった。

主たる内容は口腔ケアの意義、重要性に始まり、効果的な手技等であった。前田委員長の提示する口腔ケアのスライドは歯科以外の職種の人にもわかりやすくまとめられ

た内容であった。

閉会挨拶は河面智之中区医師会副会長が務め、「新型コロナウイルス感染予防には自らの抵抗力を高めることが重要であり、口腔ケアをしっかりと行うことはそのことにもつながる」という内容で結ばれた。

なおこの研修会はハイブリッド形式を採用しており、会場には中区支部より波田佳範支部長、石本勝三氏、小松大造氏、辰本将哉氏、光山素夫氏、大塚道征氏、Webでは香川次郎副支部長、森田薫氏が出務した。



(左) 研修会の参加者 (右) 講演をする前田羊一地域歯科保健部委員長

令和4年度 広島市歯科医師会 第1回 健康ソフトボール大会連絡協議会

日時：7月22日(金)午後8時

場所：Web開催 (Zoom)

現時点で、新型コロナウイルス感染症拡大のため健康ソフトボール大会の開催が危ぶまれてはいるが、予定通り大会が開催される前提で標記の会が開催される運びとなった。

議長は波田佳範中区支部長が務め、最初に、平成20年度から令和元年度(令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)にかけての貸切バスの使用料、保険の利用状況等について報告があった。また今年参加予定

の郡市区歯科医師会が発表され、例年より参加チームが少なくなっていることも報告があった。

引続き、協議事項として、練習用グラウンドの各支部への練習日主管割当、大会当日の各支部の集合場所、移動手段等について話し合われた。

最後に、7月27日(水)に開催される県歯会主催の「第

1回郡市区代表者会議」にむけて、本会としての意見を集約して、会議を終了した。

なお、中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、花木清隆氏、東区支部より宮村健一支部長、藤範恭弘氏、南区支部より橋岡優氏、西区支部より佐久間光俊副支部長、小玉基史氏が出席した。



Zoomの様子

東区支部

令和4年度 第1回 東区支部会および納涼会

日時：7月9日(土)午後7時

場所：シェラトングランドホテル広島 3階「水輝」

標記の会が開催され、23名の会員が参加した。

シェラトングランドホテル広島の全面的なご協力を得て、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策に基づき、座席の間隔の確保(又はパーティションの設置)、食事中以外のマスク着用の推奨、手指消毒の徹底、換気の徹底を厳守して支部会が始まった。

宮村健一東区支部長の司会進行の下、慶弔報告、会計報告、行事報告、東区民イベント出務や休日歯科救急医療施設当番の予定などについての説明と協力の依頼が行われた。また、協議事項として令和6年12月開催予定の東区市民公開講座が本会東区支部の主管になることや、今年度春期に行われた学校歯科健診における実際に起こった事例に対する意見交換がなされた。

引き続き、本会からは熊谷宏会長、瓜生賢副会長および能美和基専務理事、宮内美和広島口腔保健センターセンター長が来賓として参加し、納涼会が併催された。熊谷会長

より挨拶があった後、野坂寛氏による「乾杯！」で開宴となった。コロナ禍の為、約2年半ぶりの会合となったが、和やかな雰囲気の中で会員同士が近況報告をし合い、来賓と会員間の親交を深めた。前島真紀子東区副支部長による「広島市歯科医師会歴史クイズ」、「豪華賞品目白押しなビンゴ大会」もあり、あっという間に時間が過ぎ、会合は大盛況のうちに閉会する運びとなった。



納涼会の様子

南区支部

令和4年度 第1回南区支部会総会

日時：6月29日(水)午後7時30分

場所：県歯会館 5階「501・502会議室」

内田雄士副支部長(総務)の司会進行の下、23名の参加を得て標記の会が開催された。

初めに、令和2年より令和4年現在に至るまで逝去された会員の先生方へ哀悼の意を込め全員で起立し黙祷を捧げた。

続いて河原利哉支部長の挨拶があり、総会が始まった。

報告事項では、令和3年度事業報告を支部長が、会計報告・収支報告を小笠原健副支部長(会計)が行い、玉川博監事が監査報告をした。

その後新入会員紹介挨拶、会員動向を話した。

続いて協議事項に移る前に、中川誠本会地域歯科保健部副委員長より、新入会・若い先生方を対象として、多職種連携事業について分かり易く解説があり多職種連携事業への参加をお願いした。

新役員	支部長	河原利哉氏
	副支部長(総務)	内田雄士氏
	副支部長(会計)	小笠原健氏
	理事	竹田茂氏
		近藤令依氏
		平井由美氏
	監事	玉川博氏

協議事項では、まず令和4年度事業(案)を支部長、令和4年度予算(案)を副支部長(会計)が説明後上程され、満場一致で可決承認された。

次に、コロナ禍による影響で令和2年より令和4年現在に至るまでの予算の余剰金を今後どうしていくか活発な協議が行われた。特別会計枠で余剰金を置き、通常の予算とは別建枠で活用することが上程され、満場一致で可決承認された。

用途の詳細については、今後具体的に協議していく予定となった。

最後に旧役員と新役員との交代があり引継ぎが行われたのち、副支部長(総務)の閉会の辞により終了した。

西区支部

令和4年度 観音圏域「医療と介護の連携会議」

日時：7月14日(木)午後7時

場所：生協けんこうプラザ 5階「会議室」

観音地域包括支援センター主催により、「医療と介護の連携会議」が開催された。

平林一郎西区医師会会長による開会挨拶の後、講演が行われた。演題は「最期まで自分らしく生きるために知っておきたい人生会議(ACP)とは」であり、講師の東祥子終活アドバイザーにより行われた。

この講演では、「個人が大切にしていることや医療やケアプランの望み、自身の信頼する人たちと話し合うこと」

について、個々人の考えを論議し、また、「生き逝きカード」にてカードゲーム形式の話し合いも行われた。

まとめとして、各グループの中で本日の話し合いの内容を振り返り、東祥子氏は樹木希林さんの言葉である「死ぬ時ぐらい好きにさせてよ」という言葉から私たちに宛てられたメッセージの重要性を説かれた。

最後に、三好典子観音地域包括支援センター長から大変有意義な情報共有の場となったとの閉会挨拶があった。

なお、西区支部からは、佐久間光俊副支部長、八谷文貴氏の2名が会場参加、山崎香氏がオンライン参加した。



会議の様子

ちょっとイイ話

耳寄り情報

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・歯の外傷性脱臼で前歯部を T-FIX(暫間固定)しているにもかかわらず保険算定していないケースがありました。外傷歯の暫間固定は困難なもの(500点)での算定をお願いいたします。
- ・レジン前装金属冠の前装部破損の修理を CR 充填(充形)で算定しているケースが見られました。レジン前装金属冠の前装部の破損を口腔内で補修を行った場合は、形成は区分番号 M001 に掲げる歯冠形成の「3のイ単純なもの」(60点)を、充填は区分番号 M009 に掲げる充填の「1のイ単純なもの」(106点)及び保険医療材料料(11点)により算定することとなります。

(森本 慎樹)

学術部

換気システムについて考える

新型コロナウイルス蔓延により、我が医院でも感染予防対策を改めて見直すことになりました。歯科において日頃からその徹底が叫ばれており、改めて見直す必要があると感じた項目の中から、今回は換気について注目すべきことは何か、効率よく行うにはどんな方法があるかなど検討してみたいと思います。

診療所の中には不特定多数の人が行き来し、時間とともに、飛沫やそれに混じる細菌ウイルスだけでなく有害物質や二酸化炭素も溜まっています。汚染された空気と新鮮な外気を入れ替え、診療所の空間を清潔に保つことが「換気」であり感染予防対策としても大切な事です。

診療所にはテナント内診療所と建設開業した診療所があります。それぞれについて考えてみます。

法律的にテナント内で開業した診療所は多くの方が行き来する特定建築物に該当します。そのため環境維持や改善はそのビルの所有者が責任を負います。厚労省専門家検討会(広島県もこれに沿う)の見解によると、『テナント内診療所はビル管理法に適合していれば、「換気が悪い空間」にはあてはまらないと考えられる』とありますから、ビル管理者に情報を共有してもらい、必要な換気ができているのか、基準を満たしているかどうか、設備の維持管理(清掃や整備)ができていのかを確認すればよいと考えます。

一方、歯科医師が建設開業した場合の診療所は法による規定はないものの維持管理の努力義務が生じ、管理は管理者である歯科医師が行います。管理者は建築物環境衛生基準に沿うように環境改善維持しなければなりません。

「換気が悪い空間」にならないためにはどうしたらよいか専門家の見解も参考にしながら、できる対策とその指標を考えていきます。

1 時間に 2 回換気を行えば「換気の悪い空間」にはならないとあります。これは診療所の容積や、その場所に存在する人数によって変動があることが予想されます。

そこで、我が医院ではこの基準に沿うようにするのであれば、どれだけの換気量が必要なのか、それをどのようにして求めるべきなのか調べて、実際に計算式で確認してみました。

ビルの管理法の考え方に基づく計算方法を以下に記します。

必要換気量(m^3/h (= hour の略))= $\text{医院の容積}(\text{m}^3) \times \text{換気回数}(\text{回}/\text{h})$

これを達成できているか調べるために、以下の式に変換して考えます。

換気回数($\text{回}/\text{h}$)= $\text{必要換気量}(\text{換気をするのに必要な風量}(\text{m}^3/\text{h})) \div \text{医院の容積}(\text{m}^3)$

換気回数が 2 回以上あれば窓を開けずとも厚労省の基準に達していることとなります。

我が医院は床面積 9 畳(約 16 m^2)、天井高 2.7m なので、医院の容積は $16 \text{ m}^2 \times 2.7\text{m} = 43.2 \text{ m}^3$

そして、機械的排気ファンが 1 つついていて、それをネットで調べると風量が $162 \text{ m}^3/\text{h}$ とありました。

この風量は家電の能力を調べる要領でネットの検索エンジンにファンについての型式を入力すれば調べられると思います。私の医院では天井に三菱のファンがあり、その型式を三菱のホームページから検索しました。検索方法がわからないときは後の参考文献の窓口に聞いてみてください。理論上、1 時間で 162 m^3 換気出来る計算なので、 $162 \text{ m}^3/\text{h} \div 43.2 \text{ m}^3 = 3.75 \text{ 回}/\text{h} \geq 2 \text{ 回}/\text{h}$ を満たしているということになります。

今まで窓を適宜開けていましたが、この計算式だと、診療所の窓を開けなくとも基準を満たす自然換気がされていることがわかります。ここで、窓を開けるというのは空気を 1 回(数分間程度)入れ替えるということですが、当然空気の効率の良い流れも考えなければなりません。ここでは語りませんが設計の段階で考慮されているものとします。設計についての疑問や調査依頼は専門会社の相談窓口にて受付されているのでそちらにお任せします。

また、重要なことは専門家の見解とはいえ感染を確実に予防できるということまでは文献などで明らかになっていません。これも一つの感染予防の知識として心に留めておいていただきたいと思います。

今まで「換気」について窓を開けることにより行われることとして書いてきました。だが建物によっては換気方法が違うこともあります。

換気システムには

第一種換気・・・給気と排気を機械的にファンで行うもの、設備投資必要

第二種換気・・・クリーンルーム等

第三種換気・・・給気は自然給気で排気が機械的ファンでの排気

以上のように大きく分けて 3 種類に分かれます。

先ほどまで語ってきた窓による換気システムは第三種換気となります。自院も含め建設診療所のほとんどがこの第三種にあたると思います。

ここで換気のために窓を開けるという行為についても考えてみます。窓を開けると PM2.5、花粉、排気ガスなど汚染された空気や虫までが入ってきてしまいます。果たしてその環境の中、口を開けたり診療台に器具を置いたり、本当に衛生が保たれているのでしょうか。

積極的に外気を取り入れる第三種換気では屋外の汚染された空気が室内に入る恐れがあります。従って医院のような衛生が求められる所では、第一種換気のような機械的な給気かつ高性能フィルターを通す換気システムを採用することが理想と考えられます。

実際に第一種換気が近年では普及し始めています。設備投資、ランニングコスト、その土地の気候などの問題もありますが感染予防対策のよりできた理想の医院を作り上げるべく、徐々に換気システムについても進めていきたいです。

(山崎 利恵)

参考文献：e-GOV 法令検索

：厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000616069.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000618969.pdf>

：建築知識ビルターズ

：ダイキンホームページ https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/meeting/r2/tenantseminar_20.files/daikin.pdf

：ダイキン「店舗事務所における上手な換気方法」パンフレット

：空気の相談窓口 0120-330-565

厚生部

厚生部では本会員紹介ということで、毎回1名の先生に焦点を当て、先生の思いの丈をざっくばらんに語っていただき、記事にさせていただいております。今後、先生方のもとへの取材依頼の折には、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

第5回目となる今回は、前号でご登場頂きました小松大造先生に引き続き、夫婦間で橋本巨先生から医院を継承されました、はしもと歯科クリニックの橋本佳子先生にお話を伺いました。

それでは橋本先生、宜しくお願いいたします。

☆学生時代

九州歯科大学在学中、水泳部に所属されていた橋本先生は、普段から体力づくりに励まれており、大学近くの金比羅公園内で、1周1km強のコースを11周ランニングされるのがルーティンだったそうです。水泳部のオールデンタルでは銀、銅メダルを獲得する成績を残されており、さらにはトライアスロンやフルマラソンにも挑戦されるほどのスポーツウーマンで、大学6年生の頃に参加されたフルマラソンでは、なんと4時間1分という驚異の記録を保持されています！

☆医院継承

平成16年12月にご主人である橋本巨先生がはしもと歯科クリニックを開業され、約7年間共に日々診療に励まれておりましたが、平成23年に橋本巨先生がご逝去され、同年に橋本佳子先生が医院を継承されました。突然の継承となり大変なご心痛とご苦勞をなさった橋本先生ですが、時の流れとともに、「天国にいる旦那さんはきっと、輝いて楽しく仕事をしている姿を喜んでくれるはずだ」と感じられるようになり、辛い時期を乗り越えられ、日々精力的に診療に取り組まれているそうです。また今年4月、橋本先生のご息女が歯学部に入學されたそうで、将来歯科医師同士でお話ができることを大変楽しみにされているご様子が伺えました。



20年前の私 結婚時、夫と。



今年の私 銀座資生堂にて。

☆これからの歯科医師人生

橋本先生は、「歯科医師の仕事が本当に大好きなんです」と話されており、90才を過ぎてでも続けられるくらいかっこよく年をとりたいと笑顔で語られました。そのために普段はなるべくエレベーターではなく階段を使うようにしたり、ご趣味のテニスをされたりと、常に体を動かすことを意識して運動不足にならないよう気をつけておられるそうです。

また歯科医師の仕事をする上で、人と人とのつながりを大切にされており、例えば歯科医師会の会務や会合などで様々な先生達と顔を合わせる事、接することができる場合は、豊かな人間関係を構築することのできる大切な機会であり、仕事も出会いも1日1日を大切にしたいと話されていました。



今年の私。50歳の誕生日に♪

あとがき

今回の取材中、橋本先生は終始笑顔がはじけていたのがとても印象的で、「主人と出会えたことは大吉。これからも大吉人生が続くかどうかは自分次第」と、とても穏やかな表情で語って下さいました。橋本先生の歯科医師の仕事に誇りを持って向き合われる姿勢と強い決意に大きく感銘を受けました。

橋本先生、この度は貴重なお話をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。

橋本佳子先生御略歴
平成9年3月 九州歯科大学卒業
平成9年4月 広島大学第一口腔外科入局
平成15年3月 広島大学第一口腔外科退局
平成16年12月 はしもと歯科クリニック勤務
平成23年2月 はしもと歯科クリニック継承

(高橋 由佳)

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

地域歯科保健部

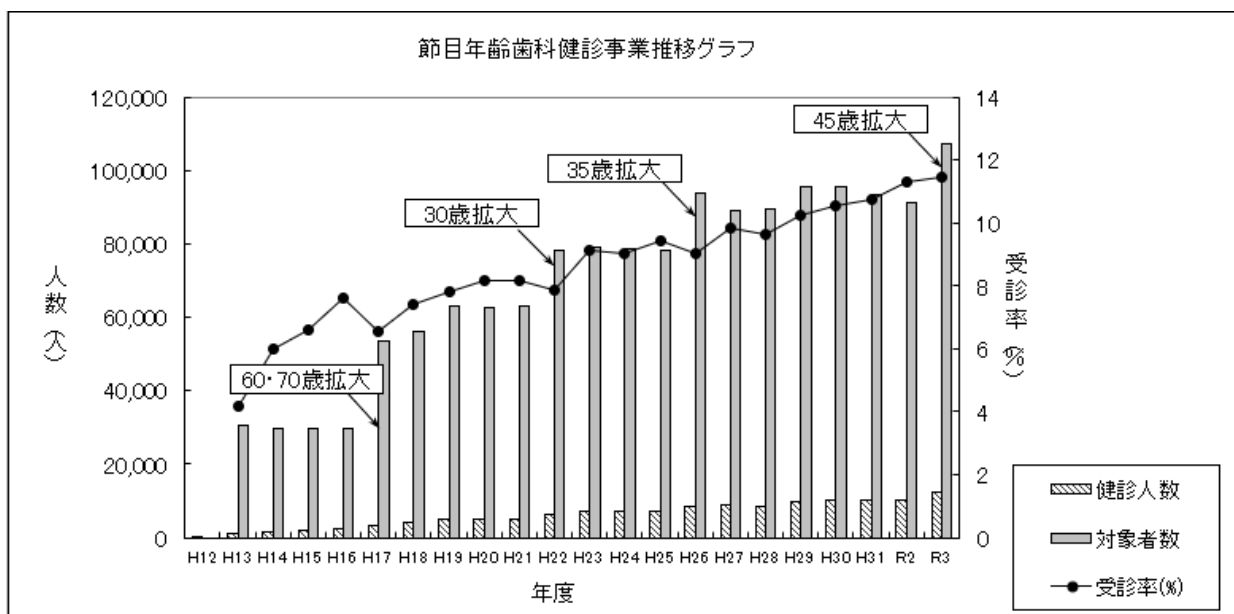
【節目年齢歯科健診の受診率について（広島県他地区との比較）】

今回は節目年齢歯科健診の受診率について、特に広島県内の他地区における歯周疾患検診との比較について解説します。

5月号にて報告の通り、生涯を通じた歯科健診の一環である歯周疾患検診は、広島市では節目年齢歯科健診という名称で行われています。

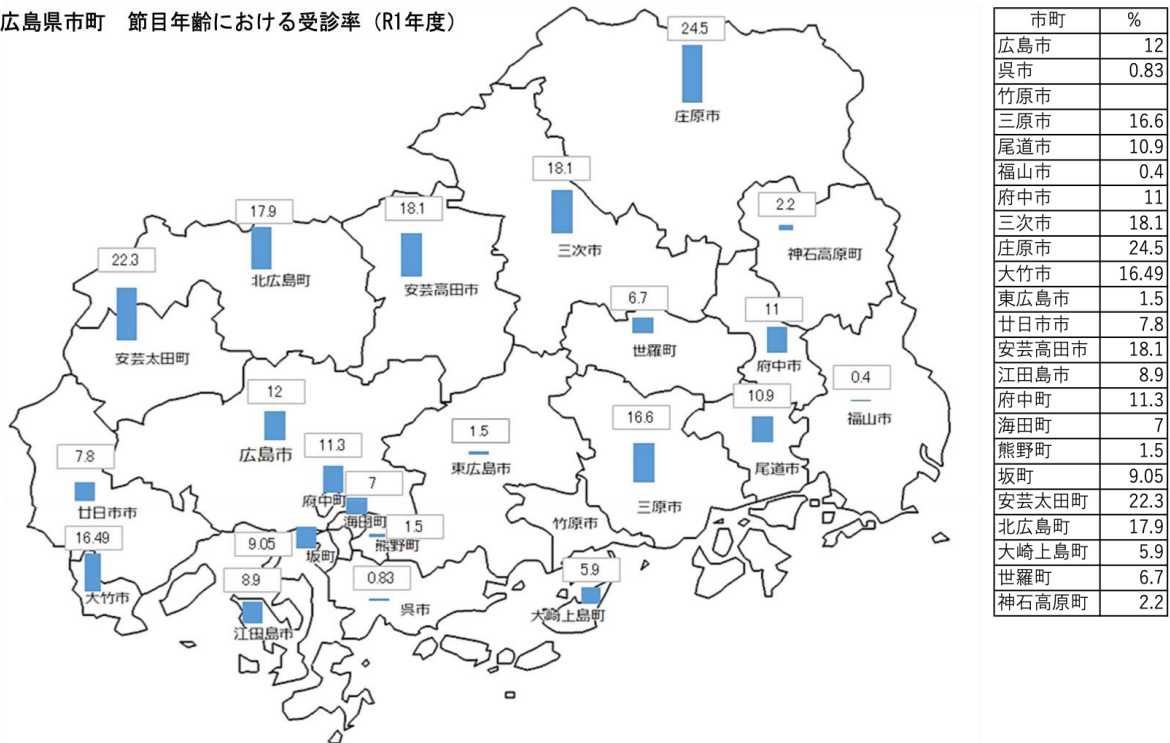
広島市での節目年齢歯科健診の受診率は年々向上しており、最新の令和3年度の受診率は11.45%にまで増加しています。

しかしながら第2次広島県歯と口腔の健康づくり推進計画での目標は40歳代、50歳代の歯周病検診の受診者割合を令和5年度までに受診率20%と設定されています。現状では40歳代12.7%、50歳代が10.7%と残念ながらまだ目標に届かない状況です。



一方で、令和2年度の広島県の他地区における受診率は下図のようになります。

広島県市町 節目年齢における受診率 (R1年度)



一般的に県北で高く、南部で低い傾向が見受けられます。

広島市(12%)よりも受診率の高い地区は令和元年度において高い順から、庄原市(24.5%)、安芸太田町(22.3%)、三次市(18.1%)、安芸高田市(18.1%)、北広島町(17.9%)、三原市(16.5%)、大竹市(16.5%)となっています。

これらの地区との違いにはいくつかの要因が考えられます。

①自己負担金の差

庄原市(0円)、安芸太田町(0円)、三次市(0円)、安芸高田市(0円)、北広島町(500円)、三原市(0円)、大竹市(65歳までは500円)と受診における金銭的なハードルが低いことが挙げられます。逆に受診率が広島市より低く10%を下回る地区は平均で約800円と自己負担が高くなっています。

②未受診者への受診勧奨制度

受診率の高い地区はそれぞれ、庄原市(個別封書)、安芸太田町(個別封書)、三次市(個別はがき)、安芸高田市(個別封書)、北広島町(他の検診と一緒に通知)、三原市(個別はがき)、大竹市(個別封書)と対象者への働きかけを積極的に行っています。

以上のように、受診率の高い地区は全て、未受診者に対して受診勧告のハガキを再度郵送するなど、未受診者の掘り上げの取り組みを行っています。

③受診方法の違い、集団健診など

安芸太田町、北広島町は医科の集団健診と同時に歯科健診を実施しており、自ら歯科医院に予約して受診するハードルを下げる試みを行っています。

これらの傾向を踏まえて、広島市でもさらなる受診率の向上を図る必要があると考えます。

(森川 英彦)

学校歯科健康診断における歯垢・歯肉の診査基準について

顎関節、歯列・咬合に続き、今回は歯垢・歯肉の評価についての確認をしていきます。

歯垢・歯肉の診査はともに前歯部唇面において視診により評価を行い、「0」「1」「2」の3段階で判定します。

歯垢の状態の検査及び判定基準は以下のとおりである。

「0」（ほとんど付着なし）：ほとんど歯垢の付着を認めない者

「1」（若干の付着あり）：歯面の1/3以下に歯垢の付着を認める者で、ブラッシング指導を要すると判断される者

「2」（相当の付着あり）：歯面の1/3を超えて歯垢の付着が認められる者で、ブラッシング指導は行わなければならないが、場合によっては生活習慣に問題があって健康相談を行う必要のある者

また、萌出途上の第一大臼歯、第二大臼歯で低位にある歯では、咬合面に多量の歯垢が付着していることがあります。むし歯予防の見地から、この部位の清掃は大切であるため、当該児童生徒(幼児)については別途指導を行う必要があります。

歯肉の状態の検査及び判定基準は以下のとおりである。

「0」（異常なし）：歯肉に炎症がない者

「1」（定期的観察が必要）：歯垢の付着があり、歯肉に炎症が認められるが歯石沈着は認められず定期的な観察が必要な者で、生活習慣の改善と注意深いブラッシング等の適切な保健指導を行うことによって炎症症候が消退する程度の歯肉炎を有する者。

GO - 歯周疾患要観察者

「2」（歯科医師による診断が必要）：精密検査や診断・治療が必要な歯周疾患が認められる者で、歯石沈着を伴う歯肉炎の者、あるいは歯周炎、増殖性歯肉炎が疑われ、精密検査と処置を必要とする者。

G - 歯周疾患要処置者

歯肉の状態が「1」又は「2」の者については学校歯科医所見欄に「GO」又は「G」と記入します。歯石の沈着が認められるが歯肉に炎症が認められない者はGとせず「0」と判定し、学校歯科医所見欄に「歯石沈着」あるいは「ZS」と記入し受診を指示します。

「C」及び「G」は当然治療が必要となるが、歯科医療が「治療」だけでなく「予防」が重視されているのと同様に、学校歯科保健においてもヘルスプロモーションの理念を基に「疾患対応から健康対応へ」と移行しています。「CO」や「GO」はこの考えにおいて大きな役割を果たしており、児童生徒が健康を取り戻すために生活習慣を自ら振り返ることで、歯みがき習慣や食習慣などの生活習慣を見直すことを目的としています。ヘルスプロモーションという考えにおいて、我々歯科医師は「CO」や「GO」を見つけ出し、児童生徒に対して、生活環境や生活習慣などの背景を理解しそれぞれに合った対応方法を指導する重要な役割を担っています。

(野坂 覚)

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より

—こんな医療トラブルが起っています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：麻酔について

歯を削る前に麻酔をされた。ブリッジのために麻酔が必要なのか。治療費を高くするために麻酔をしたのではないか。

(センターの対応)

歯を削る際は神経を刺激する可能性があり、麻酔をかける場合が多いと思う。妥当性については当センターではわからないため、歯科医師会の連絡先を伝える。

(コメント)

患者さんが不信感をもつ原因のひとつに、治療前の説明不足が考えられます。麻酔に関しては、希望する人と希望しない人どちらの患者さんも一定数おられます。治療前に、麻酔を希望するかどうか聞くことも必要かと思えます。術者には当然のことでも、患者さんの目線に立って詳しく説明するように心がけましょう。

事例2：治療終了について

受診していた歯科医師から治療終了を告げられたが、症状は出現したままであるが、いかがなものか。

(センターの対応)

センターでは治療内容については分からないため、歯科医師会の情報を伝えた。

(コメント)

治療を行っても改善しない場合もあるかもしれません。患者さんには現状についてよく説明をし、希望する場合は他の医療機関を紹介するなど、患者さんの気持ちに対応するようにしましょう。



広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QRコード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>

広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼医師と歯科医17人処分 放火やわいせつ行為など—厚労省

時事ドットコム (2022年7月21日)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022072101268&g=soc>

厚生労働省は21日、医道審議会医道分科会の答申を受け、刑事事件で有罪が確定するなどした医師11人と歯科医師6人の計17人に対し、免許取り消しや業務停止などの行政処分を決めた。発効は8月4日。

建物に火を付けたとして有罪となった岡山市の越智敏博医師(70)を免許取り消し、女性宅に侵入してわいせつな行為をした福岡市の横山拓医師(46)を業務停止3年とした。



▼薬剤や生活習慣は腸内細菌叢にどう影響？

時事メディカル (2022年7月22日)

<https://medical.jiji.com/news/53369>

さまざまな外的・内的要因が腸内細菌叢のバランスに影響を及ぼすことが知られているが、それらの要因を網羅的に解析した研究は少ない。東京医科大学消化器内視鏡学准教授の永田尚義氏は、日本人約4,200例を対象にさまざまな生活習慣や臨床情報を腸内微生物叢情報と統合した世界初の大規模マイクロバイームデータベースを構築。腸内細菌叢に与える影響は食事、生活習慣、疾患よりも薬剤投与によるものが強いことなどを *Gastroenterology* (2022; S0016-5085: 00732-6)に報告した。



ニュースピックアップ

▼BA. 5 拡大、ワクチン効果減＝コロナ感染者、急増続く恐れ

時事メディカル 2022年7月16日

<https://medical.jiji.com/news/53263>



新型コロナウイルスの新規感染者数が16日、過去最多を更新し、年明けからの「第6波」のピークを上回った。「第7波」の要因としては、オミクロン株の一種で感染力が強い「BA. 5」の拡大やワクチン効果の低減が指摘される。

◎当面は感染者の急増が続くとみられ、ワクチン接種や医療提供体制整備とともに、マスク着用や手洗い、部屋の換気といった感染対策の徹底が重要となっています。

▼官房長官「新型コロナ『BA・5』は感染者増の要因に」

THE SANKEI NEWS 2022年7月12日

<https://www.sankei.com/article/20220712-S63B7QJ2BJORLTY4666WHUXYI/>



松野博一官房長官は12日午前の記者会見で、新型コロナウイルスのオミクロン株の派生型「BA・5」について「既存のオミクロン株からの置き換わりが進み、感染者数の増加要因となる可能性がある」と述べた。BA・5の感染傾向に関しては「専門家からは学校などにおける割合が高いと指摘されている」と説明し、治験の収集や感染状況の監視を続ける考えを示した。

◎専門家会議では、最近の感染拡大について「第7波に入った」との見方を示したとのことですが、政府は「感染拡大の波について明確な定義は設けていない」とし、この件に関してのコメントを差し控えています。とにかく、マスク着用や3密回避など感染対策の徹底を続けることが大事であるとしています。

▼BA・5 対応ワクチン着手 モデルナ、FDA勧告受け

THE SANKEI NEWS 2022年7月12日

<https://www.sankei.com/article/20220712-JKWEIXK5BJLH7MESDJJ7ZVEJA4/>



米バイオテクノロジー企業モデルナは11日、感染拡大中の新型コロナウイルスのオミクロン株派生型「BA・4」と「BA・5」に対応するワクチンの開発に着手したと発表した。米食品医薬品局(FDA)が6月末、秋の追加接種に向け開発を勧告したことを受けた。

◎これについては、流行初期の株を基に開発した現行品とオミクロン株派生型「BA・4」と「BA・5」用のワクチンを混ぜた製品になる見通しとのことですが、仮に臨床試験で有望な結果が出たとしても、冬には今と別のタイプが流行している可能性もあります。このいちごっこはいつまで続くのでしょうか。

▼若い人に多いコロナ後遺症、共通点は「ブレインフォグ」…医師「改善まで数か月以上かかる印象」

yomiDr.2022年7月9日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220708-OYT1T50121/?catname=news-kaisetsu_news



新型コロナウイルス感染者数の群馬県の累計は、8日に10万人に達するのが確実な状況だ。2020年3月の感染初

確認から約2年4か月で、県民の約19人に1人が感染した計算になる。感染者の中には無症状や軽症で済んだ人がいる一方、後遺症に苦しむ人も少なくない。

◎後遺症はブレインフォグの他に全身のだるさがあるなど、状態によっては仕事や普段の生活に支障をきたすことがあるとのこと。新型コロナウイルス感染症はまだ未知の病気だと思いますが、後遺症についてもさらに研究が進むことを期待します。

▼肥満で歯周病悪化 微小物質が関与 岡山大助からタンパク質阻害確認

山陽新聞 2022年7月3日

<https://www.sanyonews.jp/article/1280441/>



岡山大の丸山貴之助教(予防歯科学)らのグループは、肥満になると、タンパク質の生成を阻害する2種類の微小物質「マイクロRNA」が多く発現して歯周病を悪化させる仕組みを、ラットによる研究で確認した。

◎肥満になると歯周病になりやすいことは分かっていたが、そのメカニズムは不明でした。脂肪細胞から発現したマイクロRNAが歯肉や歯槽骨のもととなるタンパク質の生成を阻害し、歯周病を悪化させていると結論付けたようです。今後の研究に注目したいと思います。

▼歯を削る器具を盗みメルカリに出品か 歯科医院事務員の女を逮捕

朝日新聞デジタル 2022年7月12日

<https://www.asahi.com/articles/ASQ7D65KSQ7DO1PE01C.html>



勤務先の歯科医院から医療器具を盗んだとして、愛知県警は12日、名古屋市北区金城2丁目の事務員吉田那津子容疑者(40)を窃盗の疑いで逮捕し、発表した。容疑を認めているという。

◎誰でも気軽に現金化できるメルカリやヤフオクは盗品が出品されていることもあります。スタッフ教育も大切ですね。

▼案内、翻訳、清掃はロボットにお任せ？ 鹿児島空港で実証実験

南日本新聞 2022年7月6日

<https://373news.com/news/storyid/159004/>



鹿児島空港ビルディング(霧島市)は5日、館内の案内業務や清掃に使うロボットの実証実験を始めた。感染症対策や労働力不足の解消につなげる狙い。

◎労働力不足や人件費の高騰により、経営も難しさを増してきています。歯科医院経営においても同様で、これからは機械やロボットが導入されていくことが予想されます。

▼潰瘍性大腸炎 ミニ臓器を移植し治療 世界初、東京医科歯科大

THE SANKEI NEWS 2022年7月7日

<https://www.sankei.com/article/20220707-KVCEYGHAAQJJ7ZP75AICMR47VFI/>



潰瘍性大腸炎という難病の患者から採取した細胞を使って、大腸のような働きを持つ「ミニ臓器」を作り、患者自身に移植して治療する世界初の手術を臨床研究として実施したと東京医科歯科大のチームが7日、発表した。薬では治療が難し

い潰瘍部分を修復できる可能性があり、再生医療による新たな治療法として実用化が期待される。

◎安倍晋三元首相をも悩ませた潰瘍性大腸炎ですが、やはり難病治療には再生医療が適しているようです。今後に期待しましょう。

▼糖尿病による足の動脈硬化…進行すると足切断 命に関わることも

yomiDr. 2022年7月16日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220704-OYTET50038/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai

糖尿病が進むと、足に傷ができやすくなり治りにくくなります。足の動脈硬化「末梢動脈疾患」(PAD)や神経障害が起こるからです。放置すると、足の切断から寝たきりになり、命に関わることもあります。こうした足の傷の治療に対する診療報酬が今春、新たに認められました。

◎怖い病気というイメージが少ない糖尿病ですが、気づかない間に進行し悪化すると命にも関わってきます。もちろん早期発見、早期治療が重要ですが、進行した足の潰瘍治療にも医療体制が整ってきているとのこと。

▼〈独自〉医療界がサイバー攻撃対策で新組織 厚労省と協力、年内にも

THE SANKEI NEWS 2022年6月26日

<https://www.iza.ne.jp/article/20220626-T7QQAOD07JPJNPZJBU4OHMG2UI/>

端末のデータを暗号化して使用できない状態にすることで、復元と引き換えに金銭を要求するといったような医療機関へのサイバー攻撃に対応するため、厚生労働省の協力の下、日本医師会など医療・製薬分野の関係団体が、サイバー情報を平時から独自に収集・分析する新組織を年内にも発足させることが分かった。



◎政府は今後、全国の医療機関で患者情報などを共有するシステムの構築などデジタル化を加速させる見通しのため、医療界も自ら情報を共有し、セキュリティ強化に取り組む必要性に迫られています。

▼来年5月のG7サミットへ 広島県警が「サミット対策課」新設

NHK NEWS WEB 2022年7月1日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220701/k10013697411000.html>

来年5月に広島で開催されるG7サミット＝主要7か国首脳会議に向けて、広島県警察本部はテロ対策や要人の警護にあたる専門の部署を新設し、1日、発足式を行いました。

◎安倍元首相銃撃事件について、要人警備の検証が行われています。今後さらに、要人警備体制の強化が「サミット対策課」には求められています。

▼7年ぶりに全国で節電要請 9月末まで無理のない範囲で節電を

NHK NEWS WEB 2022年7月1日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220701/k10013697301000.html>

政府は東京電力の管内に出していた「電力需給ひっ迫注意報」を30日で解除しました。

ただ、この夏の電力需給は引き続き厳しい状況が続くとして、7年ぶりに全国で節電要請を行い、1日から3か月間、無理のない範囲で節電への協力を呼びかけています。

◎資源エネルギー庁は家庭や企業でできる具体的な節電の行動とそれによる電力の削減率をまとめています。電力の需要が上昇する中で、新型コロナウイルス感染症の状況と熱中症対策の中で、節電とのバランスが重要です。



【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル

ぜひご視聴ください

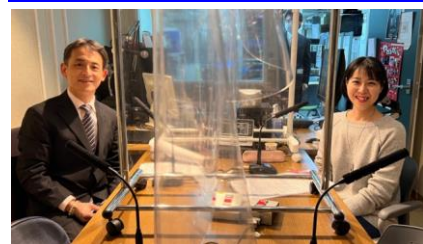
チャンネル登録お願いします

6月1日放送分

「歯科衛生士の役割」

広島市歯科医師会 鈴木良貴氏

<https://youtu.be/mZPwjDh8Dok>



6月15日放送分

「ワクチン接種3回目体験談」

広島市歯科医師会 田中尊治氏 鈴木良貴氏 水内裕之氏

https://youtu.be/dadK0guD_w4





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

8月3日放送分

「歯と歯の間の清掃について」

広島市歯科医師会 横村康彦氏

歯磨きは歯ブラシだけでは足りません。歯と歯の間には歯ブラシで磨くだけでは取れない汚れが残っています。虫歯や歯周病を予防するためには、歯と歯の間の汚れもきれいにしないとけません。デンタルフロスや歯間ブラシなど、専用の道具を使って虫歯や歯周病を予防しましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、横村康彦さんが話します。

8月17日放送分

「令和版 虫歯予防の勧め」

広島市歯科医師会 柄慎太郎氏

虫歯は感染していくので、大人から子どもへうつらないよう気を付けましょう。虫歯菌が好む発酵性糖質(ショ糖、炭水化物など)を減らし、これを含む物の飲食回数を少なくすることが大切です。フッ素は歯をコーティングする効果があるので、フッ素配合歯磨き粉の使用がお勧めです。定期的に歯科を受診して、良好なお口の状態を保ちましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、柄慎太郎さんが話します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント
友達募集中!



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- 5月10日配信 レセプトオンライン接続で不具合が発生しています
- 6月14日配信 一般社団法人広島市歯科医師会第115回定時総会の開催のお知らせ
- 7月1日配信 WHITE CROSS Webセミナー(内山茂先生)動画視聴期間延長のお知らせ

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

会員ひろば

新入会員紹介



高橋兼一郎

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました高橋兼一郎と申します。

私は、昭和大学歯学部を2002年に卒業後、広島大学病院にて臨床研修を経て、歯科麻酔科に入局し、手術室での全身麻酔管理や歯科恐怖症や嘔吐反射の強い方など、通常の歯科治療が困難な方の外来麻酔管理などを学ばせていただきました。

2006年4月より、南区旭町にあります医療法人社団高橋歯科医院にて父である高橋悠夫とともに診療しており、2013年9月に近隣に移転開業し現在に至っております。

有病者の歯科治療・訪問診療を通じて微力ながら地域歯科医療に貢献できるよう精進して参ります。

入会に際し、多くの先生方にご指導・ご助言を頂き深く感謝しております。この場をお借りし心より御礼申し上げます。卒後20年経ちますがまだまだ未熟者で、諸先生方にご迷惑をおかけすると存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



松岡祐一

広島市歯科医師会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度広島市歯科医師会に入会させていただきました松岡祐一と申します。私は長崎大学歯学部を卒業後長崎大学病院にて臨床研修を修了し、その後勤務医として福岡県で3年間働いた後広島へ転居し、7年間広島市で3軒の歯科医院で働かせていただきました。今回御縁あって東区牛田本町に2022年5月から「まつおか歯科クリニック」を開業させていただくことになりました。

歯科医師会入会に際しましては、近隣の先生方をはじめ、諸先生方にご指導いただき、心より感謝申し上げます。微力ではございますが地域の歯科診療に少しでも貢献できるように精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



八谷文貴

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

私はこの度広島市歯科医師会に入会させていただきました八谷文貴と申します。

愛知学院大学を卒業後、研修医を経て同大学大学院歯学研究科(保存修復学専攻)を卒業致しました。その後同大学保存修復学講座の非常勤教員として勤務しながら、2022年3月まで名古屋市内の歯科医院において勤務しておりました。そして、この度生まれ育った広島の地で開業のご縁をいただき、西区楠木町に開業させていただき、これを機に広島市歯科医師会へ入会させていただいた次第です。

入会に際しまして、諸先生方からご助言を賜り誠にありがとうございました。微力ではございますが、地域医療に貢献と、広島市歯科医師会の益々の発展にお力添えできるよう精進する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

会長に就任して3年、多くの労力を新型コロナウイルスの対応に費やしてきました。もうそろそろ予定していた様々な取り組みを実施したいと思っていた矢先、感染力の高いオミクロン変異株「BA.5株」による感染爆発が発生してしまいました。広島市においても7月21日に過去最高の1,000人を超え、その後も本稿執筆時点で1,000人程度の感染者が発生し続けています。

「BA.5株」については、本号でまとめていますので是非再確認をお願いします。

本会においても、会員、会員家族、診療所スタッフの感染報告が続々と寄せられています。これまでになかったことです。

子供の陽性をきっかけとした家庭内感染が多いとの報道もありますが、広島市の発表を見ると、子供だけではなく、全世代に均等に発生しています。

7月21日広島市は、陽性患者の発生を1,397人と発表していますが、そのうち重症が1人、軽症が1,372人、無症状が24人となっています。濃厚接触者との判定などで無症状だけ検査したら陽性になった、という方が多いのではないかと想像していましたが、無症状が24人しかいないことは驚きでした。

感染症の分類を2類相当か5類へ変更すべきだと議論もあるようですが、現時点で2類である以上、我々がPCR検査にて陽性と判断されれば保健所に通知がいくとともに、法に基づく隔離等の処置対象となります。

まずは感染しないことをな

よりも優先して取り組む必要があります。しかしながら、今の感染状況ですと、どんなに気をつけていても感染するときは感染すると考えざるを得ません。

その状況の中で、会員や家族、スタッフの安全を確保しながら、広島市民に歯科医療を提供し続けるため

に、本会としても精一杯の取り組みを行っています。その一つが、抗原定性検査キットの配布です。

年初に、国は医療従事者などの社会機能維持者が濃厚接触者となった場合、毎日の業務前に厚労省が認める抗原定性検査キットによる陰性確認により従事できるという通知を出し、広島県においても、広島県歯科医師会を窓口

に濃厚接触者と判定された医療従事者へのキット配布を行っています。

広島市歯科医師会においては、それよりずいぶん前から独自に抗原検査キットを入手し、必要な場合に会員の先生方に配布しています。

当初は、厚労省未認定の抗原検査キットしか手に入りませんでした。現在では厚労省認可の抗原定性検査キットを手に入れることができ、なんとか在庫を確保して対応しているところです。

感染爆発の状況において、新型コロナウイルスが身近に発症した方々が直面したのは、①PCR検査をすぐに受けられない ②検査結果もすぐに出ない ③保健所からの連絡も遅い ④自分も含め濃厚接触者なのかどうか

会長コラム (第37回)

柔しく剛く

コロナ禍はいつまで続くのか

熊谷 宏

もすぐにはわからない ということですが、なによりも、スタッフから「発熱しました」とか、「子供が陽性で」とか「濃厚接触者になりました」などの報告を受けると「どうしたらいいのか?」「今日の診療をやるべきか中止すべきか?」などと、混乱・狼狽されるのではないかと思います、それをなんとかサポートしなければと考えていました。

そこで、本会に連絡していただければ、アドバイスとともに、抗原定性検査キットでとりあえずすぐにご自身で判定していただき、さまざまな判断の一助にいただければと思った次第です。

在庫に限りがありますので、事例発生直後の緊急対応時に限らせていただいておりますが、困ったことがありましたら、ご一報いただきますようお願い致します。

みんなで力を合わせて、コロナ禍を乗り切りましょう!

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2022年7月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2022年7月1日～7月31日)

世界・日本での経過	2022年	広島市歯科医師会での対応
新型コロナ新規感染者 全国で増加 32都府県で前週より多く 国内累計感染者数 9,355,632人 世界累計感染者数 544,324,069人	7月1日	
	7月3日	会員相談対応抗原検査キット配布
新型コロナワクチン 3回接種終了 全人口の62%(4日公表)	7月4日	
全国の感染者、5月末以来の3万人超に	7月5日	
WHO 世界のコロナ新規感染 約30%増加 「BA.4」「BA.5」主流に	7月6日	
名古屋工業大学AI 予測 オミクロン「BA.5」7月下旬 都内感染 1日約1万8000人	7月7日	
都知事 ウイルスの特性踏まえ“まん延防止”適用基準明確化する よう国に求める	7月8日	
中国 ゼロコロナ政策で雇用環境悪化 若者の就職活動にも影響	7月9日	
岸田首相 「新たな行動制限はいま考えていない」 新型コロナ ウイルス感染再び拡大で	7月10日	
国内累計感染者数 9,709,632人 世界累計感染者数 550,218,992人		
マカオ カジノ含むほとんどの経済活動を停止 コロナ急拡大で	7月11日	
新たな変異ウイルス「BA.2.75」 神戸市で確認 検疫除き全国初	7月12日	
厚労省専門家会合 コロナ急拡大 新規感染者 すべての年代で増加 と指摘	7月13日	
米ファイザー 生後6ヶ月から4歳を対象とした新型コロナウイ ルスワクチンを厚労省に承認申請	7月14日	
新型コロナの感染者 10万人超 “診察受けられず” 病床ひっ迫も	7月15日	
注射器で空気を注入した疑い 山口のコロナワクチン接種会場	7月16日	
東京大学などのグループがインターネット上で発表「BA.5」従来の オミクロン株に比べ病原性高めか 動物実験結果	7月17日	
新型コロナ 感染者数拡大で医療ひっ迫 救急搬送受け入れ困難も	7月19日	
国内累計感染者数 10,629,976人 世界累計感染者数 556,897,312人	7月20日	会員相談対応抗原検査キット配布
新型コロナBA.5 既存の抗ウイルス薬が高い効果 東大など発表	7月21日	会員相談対応抗原検査キット配布
濃厚接触者の待機期間 5日間に短縮 社会経済活動の維持のため	7月22日	会員相談対応抗原検査キット配布
	7月23日	会員相談対応抗原検査キット配布
	7月24日	会員相談対応抗原検査キット配布
厚労省 新型コロナワクチン接種後死亡で初の死亡一時金支給へ	7月25日	三役会 ティエースアルファとの協議
政府 コロナ抗原検査キット 薬局でも無料配布を	7月26日	会員相談対応抗原検査キット配布
感染確認 全国で20万人超 過去最多に 日常生活にも影響	7月27日	理事会
感染拡大で主流の「BA.5」 潜伏期間は「BA.1」より短い2.4日か	7月28日	会員相談対応抗原検査キット配布
解熱鎮痛薬「カロナール」出荷調整へ 新型コロナで需要急増	7月29日	会員相談対応抗原検査キット配布
政府 新型コロナの感染症法上の扱い “引き下げ現実的でない” 国内累計感染者数 12,597,970人 世界累計感染者数 571,198,904人	7月30日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体 ※以前のは前号参照

7月定例理事会報告

「部外報告」

- 6月23日 【書面決議】広島原爆障害対策協議会評議員会
- 6月27日 広島市・広島大学との協議
- 6月30日 歯科医師国保組合理事会
- 7月6日 令和4年度広島市学校保健会第2回理事会及び表彰審査委員会
- 7月7日 (県歯)会員サポート室会議
- 7月8日 第2回四者協議会
- 7月9日 【Web】第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会専務会議(新潟市)
- 7月11日 第44回広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会
- 7月12日 歯科医師国保組合理事会
- 7月13日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」第2回評価部会
- 7月20日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 7月21日 「広島サミット県民会議」設立総会及び第1回総会
- 7月21-25日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 7月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査

(連盟関係)

- 6月22日 参議院議員選挙公示
- 7月4日 広島県歯科医師連盟政治セミナー「講演会活動と選挙活動のポイント」
- 7月10日 参議院議員選挙投開票日

「総務関係」

- 6月23日 ティーエスアルフレッサとの会談
- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第115回定時総会
- 7月9日 令和4年度「第1回東区支部会および夏を乗り切ろう会」
- 7月13日 アトラクトワンとの打合せ
- 7月14日 広島東洋カープ観戦の集い
- 7月22日 【中止】おくちの健康展反省会
- 7月25日 ティーエスアルフレッサとの協議
- 〃 三役会
- 7月27日 定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

- 7月15日 入会前面談(橋本茉衣子先生)

(県歯理事会関係)

- 7月7日 (県歯)理事会

(1) 総務部(森本理事)

- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第115回定時総会
- 6月28日 休診レセプト点検
- 7月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 7月13日 定例委員会

- 7月14日 (県歯)保険部常任委員会
- 7月15日 入会前面談(橋本茉衣子先生)
- 7月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査
休日診療保険請求における留意事項について
令和4年度広大臨床研修医セミナー結果報告(6/6~7/6公開)視聴数46回
研修医数31名

(2) 学術部(花岡理事)

- 7月8日 定例委員会
- 7月22日 【中止】おくちの健康展反省会

(3) 厚生部(谷理事)

- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第115回定時総会
- 7月4日 広島県歯科医師連盟政治セミナー「講演会活動と選挙活動のポイント」
- 7月5日 定例委員会
- 〃 だより7月号会員の取材
- 7月14日 広島東洋カープ観戦の集い
- 7月22日 【中止】おくちの健康展反省会

(4) 地域歯科保健部

- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第115回定時総会
- 7月22日 定例委員会
- 〃 【中止】おくちの健康展反省会

<地域保健>(若林理事)

- 6月24日 【Web】節目健診オーラルフレイル事業小委員会
- 6月29日 広島県歯科保健実態調査小委員会
- 7月7日 令和4年度第1回広島市障害者差別解消支援地域協議会
- 7月9日 【Web】三次庄原多職種連携会議
- 7月13日 (県歯)地域保健部常任委員会
- 7月20日 令和4年度第2回広島市障害者施策推進協議会

<地域連携>(藤田理事)

- 6月28日 令和4年度広島県地域リハビリテーション専門職等基礎研修
- 6月29日 医療法人秀仁会面談
- 〃 RCCおひる一なプラス収録
- 6月30日 社会福祉法人福祉広医会評議委員会
- 7月11日 令和4年度第1回西区地対協常任理事会・理事会合同会
- 7月14日 令和4年度広島県歯科衛生連絡協議会「介護予防のための口腔機能管理推進検討会議」第1回委員会
- 7月25日 株式会社シーフォークリエイツ面談

<学校保健>(石田理事)

- 7月6日 令和4年度広島市学校保健会第2回理事会及び表彰審査委員会
- 7月8日 第2回四者協議会

(5) 広報部 (水内理事)

- 6月25日 臨時理事会
- 〃 第115回定時総会
- 7月1日 【Web】校正委員会(だより7月号)
- 7月9日 令和4年度第1回院長セミナー(県歯)
- 7月11日 FMちゅーピー収録
- 7月16日 令和4年度第2回院長セミナー(県歯)
- 7月21日 【Web】情報調査委員会

FMちゅーピー (放送日)

- 8月3日 「歯と歯の間の清掃について」
広島市歯科医師会 横村康彦氏
- 8月17日 「令和版 虫歯予防の勧め」
広島市歯科医師会 柄慎太郎氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,341 (累計 117,340)
 ページビュー 19,693 (累計 1,367,838)
 会員サイト 訪問者 368 (累計 28,139)
 ページビュー 1,323 (累計 274,708)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 94件(6/21~7/20)
 LINE公式アカウント 登録者数
 7月21日 116名

(7) 特別委員会(会史等編纂特別委員会)

- 3月17日 現地取材(平和記念資料館 原爆死没者追悼平和祈念館 被爆遺構展示館)
- 4月21日 現地取材(平和記念資料館 原爆死没者追悼平和祈念館)

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 6月29日 治療記録提供について(男性)
- 7月16日 口腔保健センター受診について(70歳代男性)来館

「協議事項」

- 入会について(3名)
中区支部の佐々木宏治氏の入会について承認、
中区支部2名継続審議中
- 原爆死没者慰霊祭について
内容、集合時間確認
- クリスマスパーティーについて
コロナ感染者増加における判断について協議
- 令和4年度広島市保険講習会について
参加者数確認
- 乳幼児健診における緊急の協力医変更について
支部単位での対応を確認
- 学校嘱託歯科医への対応について
対応協議、継続審議
- 広島市健康づくりセンター健康科学館への啓発資料寄贈について
内容協議、地域歯科保健部でまとめ寄贈する準備を整えることになった
- その他
特になし

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

